

施策評価管理シート

2014(平成26)年7月作成

担当部局名	部長名	連絡先 (担当室名)
企画財政部	森岡 千枝	63-7389 (総合企画政策室)

施策体系	政策	5	新しい時代を拓く自立と協働による地域経営
	基本施策	3	持続可能な市政運営
	施策	1	戦略的な都市経営

1. 施策の基本方針

Plan

- ・戦略的かつ計画的な市政を推進するとともに、社会環境の変化に的確に対応できる柔軟な行政運営を行います。
- ・多様な主体とのパートナーシップのもと、「全員参加の社会」の実現に向けて課題や目標が共有できるようにするとともに、行政評価等による実効性の高い行政経営を行います。
- ・環境変化に的確に対応し行政目的を効果的に達成するため継続的な組織の見直しと機構改革を進めます。

2. 目標

○重点目標

Plan

- ・引き続き、重点施策を明確にし、限られた行政資源を重点施策に集中するなど、名張躍進に向け戦略的な施策展開を図ります。
- ・多様な主体とのパートナーシップによる「全員参加の社会」の実現に向けた取組を継続的に進めます。
- ・行政評価（施策評価・事務事業評価）制度や目標管理制度等の継続的な取組により、適切なマネジメントを行い、施策の優先順位の明確化、事務事業の効果的な推進など成果重視の施策展開を推進します。
- ・機能的な組織運営を目指すため、組織体系が「課・係制度」から「室制度」に移行して約10年が経過することから、その効果や課題等を踏まえた組織・機構の見直しに向けた取組を進めます。

○目標達成に向けた課題

Plan

- ・「都市内分権の推進」「地域づくり活動の専門化・高度化」「地域づくり活動の担い手づくり」などの現状や課題を踏まえ、地域づくり組織等の組織力をさらに充実させていく必要があります。
- ・行政評価の充実に伴う各部局における自己評価の負担軽減を図るとともに、評価結果を予算編成と連動させるシステム構築が継続的な課題となっています。
- ・組織体系が室制度に移行したことにより、室長に権限・責任・情報が集中するとともに、係長廃止に伴い室内で明確に位置付けされた業務リーダーが不在となり、チェック機能の強化や次代のリーダー育成・人材育成が必要な状況となっています。

<行政評価委員会からの意見>

- ・意見なし

○施策指標（目標）及び達成状況

Plan

Do

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H20)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2015 (H27)	進捗率
「理想郷プラン」後期基本計画の数値目標（2015年度）の達成状況（%）	目標	-	-	-	50		100	
	成果	-	35.1	42.5	50.0	57.6		58%
考査制度による事業見直し件数【延べ値】（件）	目標	-	-	-	230		320	
	成果	147	176	186	200	206		34%
市の組織機構が、分かりやすく、利用しやすいと感じている市民の割合（%）	目標	-	-	-	31.0		34.0	
	成果	27.7	52.7	52.6	51.9	52.3		100%

3. 取組内容

○課題解決への取組内容

Do

- ・戦略的かつ重点的な施策展開を図るため、予算編成方針においても重点取組施策（名張躍進プロジェクト）を明らかにし、予算の重点配分を行いました。
- ・地域づくりを担う構成員の増員や事務局機能の強化を図るため、まちづくり活動に参画される人材育成を主な目的とした「名張ゆめづくり協働塾」を開催しました。
- ・事務事業評価については、シート様式の簡素化に加え、施策達成に向けた貢献度評価の項目を追加し、総合計画の推進と事務事業の関連付けの強化を図るとともに、行政評価結果を活用した施策別枠配分方式による予算編成を行いました。
- ・組織・機構の見直しに向けては、今後の職員の退職状況や年齢構成等を踏まえ、「3層制（部長・室長・室員）」及び「4層制（部長・課長・係長・係員）」のシミュレーションを実施し、今後の体制検討を行いました。

<行政評価委員会からの意見に対する取組内容>
 ・意見なし

○地域等との連携、協働に向けた取組

Do

市制施行60周年を迎えるにあたり、「新しい公」委託事業による手づくり記念事業の実施（3事業）や、市制施行60周年記念事業補助金交付事業（7事業）を実施し、市民参画と連携・協働による取組を進めました。

4. 施策達成のための事務事業及び評価

(合計 5 事業)

Do

Check

事務事業シート番号	事業名・担当室名		担当室による評価			部局による評価			
			事業費 (単位：千円)	事務事業の施策への貢献	地域づくり組織等との連携・協働	事務事業シートでの今後の方向	施策達成への貢献度	施策達成への重要度	
									2012 (H24)
1301	市制施行60周年記念式典事業	秘書室	—	2,185	B	実践している	H25完了	B	B
6003	秘書管理費	秘書室	4,432	3,831	—	該当しない	継続（現行）	—	—
6008	契約検査事務費	契約検査室	3,095	3,382	B	該当しない	継続（改善）	B	B
6012	政策調整費	総合企画政策室	12,480	17,116	B	該当しない	継続（現行）	B	A
6013	企画一般経費	総合企画政策室	61	146	B	該当しない	継続（現行）	B	B
合計（単位：千円）			20,068	26,660					
小計（うち、一般会計分）			20,068	26,660					
小計（うち、特別会計・企業会計・組合会計分）			0	0					

5. 部局による施策評価

Check

評価
計画どおり事業推進
成果・評価理由
<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度予算編成方針において、「子どもが輝くまちづくり」「食と健康づくり」「名張の元気・活力のあるまちづくり」を優先的かつ重点取組施策として明らかにし、戦略的な施策展開を図るための取組を進めました。 ・限られた職員数でより効果的な事務執行体制の確立を図るため、今後5年間（H26～30年度）の組織・機構見直し方針の策定に取り組みました。

6. 今後の施策の方向性、改善方法

Action

- ・行政評価（事務事業評価・施策評価）の取組に加え、行政評価委員会や重点事業市長ヒアリング（サマーレビュー）など様々な仕組みや制度を有機的に連動させ、必要性・経済性・効率性・有効性等の視点から事務事業をスクラップするシステムを構築し、市民の期待に応える施策を予算編成につなげていく取組を進めます。
- ・管理職級職員の抑制に努めながら、職員のマネジメント能力育成やチェック機能強化を図るため、副室長の配置拡大を図るとともに、新たな総合計画（H28年度～）の施策体系を踏まえた効果・効率的な組織・機構を実現します。

7. 総合評価

評価
B 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われている
評価理由及びその他（意見）